

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-131	15-130	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Associations between late and moderately preterm birth and smoking, alcohol, drug use and diet: a population-based case-cohort study. 早産と喫煙、飲酒、薬物の使用、食事内容との関連：ケース・コホート研究		
<b>執筆者</b>		
Smith LK, Draper ES, Evans TA, Field DJ, Johnson SJ, Manktelow BN, Seaton SE, Marlow N, Petrou S, Boyle EM.		
<b>掲載誌</b>		
Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed. 2015 Nov;100(6):F486-91. doi: 10.1136/archdischild-2014-307265.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
早産、アルコール、喫煙、薬物、食事		25972442
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> 喫煙、飲酒、薬物使用や食事内容などの生活習慣と 32 週から 36 週の late and moderate preterm birth (LMPT) の関連を明らかにする。</p> <p><b>方法：</b> イギリスのレスターシャーとノッティンガムで 2009 年 9 月から 2010 年 12 月までの死産を含めた単胎妊娠、LMPT 922 例と正期産 (37 週以上) 965 例を分析対象とした。ポワソン回帰分析を用いて LMPT に対する喫煙、飲酒、薬物使用、食事内容の相対危険度と 95% 信頼区間 (RR, 95%CI) を算出した。</p> <p><b>結果：</b> 妊娠期間中の喫煙は LMPT の危険度が非喫煙者に比べ 38% 高かった (RR 1.38, 95%CI 1.04-1.84)。果物や野菜の摂取が少ない群では多く摂取する群より LMPT の危険度が 31% 高かった (RR 1.31, 95%CI 1.03-1.66)。地中海食要素 (果物か野菜 5 皿・魚週二回以上・肉週二回以下・コーヒー 2 杯以下) をいずれか実践している者と比較すると、いずれも実践していない者は LMPT の危険度が約 2 倍であった (RR 1.81, 95%CI 1.29-2.55)。飲酒、薬物使用は LMPT との関連を認めなかった。</p> <p><b>結論：</b> 妊娠中の喫煙と乏しい食事内容は、早産の危険度と強く関連していた。妊娠早期の禁煙により LMPT 減少の可能性はある。</p>		